

令和5年度 政府予算等に関する要望活動

11月25日、自民党議員団の近藤永太郎団長をはじめとする代表団が、原油価格・物価高騰等への対応や新型コロナウイルス感染症への対応に関する要望活動を行いました。



左から、能勢政調会長、近藤団長、青山農林振興局長、四方政調会副会長、藤山政調会副会長

農林水産省農林振興局の青山豊久局長に「農山漁村コミュニティの維持・発展に向けた支援の強化」に関する要望書を提出

インボイス制度に関する 要望書を西脇知事に提出



12月23日、近藤団長・荒巻代表幹事・池田代表幹事・能勢政調会長が、インボイス制度の導入には、依然として免税事業者に対する新たな事務負担や課税負担が生じること等への懸念の声があることから、制度を円滑に導入するため必要な支援の実施を国に求めるよう、西脇知事に要望書を提出しました。

令和4年度一般会計12月補正予算の概要 総額462億1,900万円

- <12月5日議決> ◆発熱患者増加時の外来医療の逼迫回避と適切な医療提供体制の整備 21億円
<12月23日議決> ◆コロナ対応に万全を期すための医療提供体制の確保等 184億6,400万円
◆安心して出産・子育てができるよう妊婦や子育て家庭を支援 18億3,500万円
◆幼稚園、保育園、特別支援学校等の送迎バスへの安全装置設置を支援 8,600万円
◆国土強靱化に資する道路整備や治水対策の推進 154億5,700万円
◆コロナ禍で落ち込んだ府内観光の需要回復を促進 59億5,600万円
◆府議会議員選挙の執行経費 3億4,300万円
◆人事委員会勧告による職員の給与改定等 15億1,500万円

勉強会・意見交換会

スマートライフ議連勉強会



京都市日本保育協会との意見交換会



自民党が提出し、可決された意見書

この意見書は、衆参両院議長・総理大臣・所管大臣に提出します。
■旧統一教会による被害者への救済措置の早急な実施等を求める意見書

12月定例会での質問項目の一部抜粋です。*京都府議会のHP (http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html) で録画中継をご覧になることができます。

12月定例会 代表質問

①大阪・関西万博の経済効果を府域へ ②丹後郷土資料館のリニューアルを！ ③京都丹後鉄道の維持・発展を！

①大阪・関西万博の経済効果を府域全体へ誘引するための施策を！ 京都市や府内市町村、経済界や文化団体など、オール京都で取組を進めると共に、文化庁とも連携することで、府域全体へ万博の経済効果を誘引する取組を進めてほしい。
②丹後郷土資料館のリニューアルと天橋立世界遺産登録の推進を！ 同館のリニューアルでは、事業者や住民と連携し、文化と観光、地域経済における「好循環」を生み出してほしい。今年天橋立が名勝指定100年の年。天橋立世界遺産登録へ向け活動を継続してほしい。
③京都丹後鉄道の維持・発展のために尽力を！ 京都丹後鉄道となり、令和6年度末で10年が経過するが、引き続き維持・発展をさせていくために力を尽くしてほしい。



宮津市・与謝郡 中島 武文

中小企業・小規模事業者への支援 子どもの教育のための総合交付金 宇治市のまちづくりに対する支援

〇ゼロゼロ融資の返済開始が令和5年度にピークを迎える中、原油高燃料費等の高騰により中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあるが、現状認識と支援策は。
〇視覚障害者の社会参加のためには、あらゆる場面で情報アクセシビリティの十分な配慮が求められるが、現状と対策は。
〇教育においては、市町村ごとに抱える課題やその対策も様々でありきめ細かな取組が重要である。知事公約でもある「子どもの教育のための総合交付金(仮称)」の創設が必要と考えるが、ご見解は。
〇京都南部の核都市として宇治市がこれからも発展するには、新名神の完成を目的とした道路整備や、地域資源を活かした観光振興も重要であり、京都府の支援も欠かすことができないが、ご見解は。



宇治市・久世郡 荻原 豊久

障がい者歯科医療について 介護予防事業の今後の展開 再エネの活用促進 京つけものについて

〇京都府歯科医師会は府内の障がい者歯科医療を担っているが、常に予約が埋まっており急患の随時受け入れが困難になっている等、多くの課題を抱えている。現状をどのように認識し今後どのように対応されるか、知事の所見を伺いたい。
〇府民の健康寿命が全国平均と比べ短い現状、通いの場の参加人数が少ない現状を民間のスポーツジムの協力で改善できると考えるがどうか。
〇太陽光パネルの設置に伴う大規模森林開発の課税による抑制は考えているか。燃料電池車購入の補助は考えているか。
〇京つけものを京もの伝統食品として指定している中、職人の高齢化等、ほんまもんの京つけものを後世に残すことが難しくなっているとの声を聞く。京つけもの現状や今後の展開について伺う。



右京区 北原 慎治

12月定例会 一般質問

防災・危機管理の取組について 循環型社会に向けた取組について

〇災害や感染症まん延等の緊急事態に備えた準備や部局間連携の状況は。9月1日「防災の日」を一層浸透させるため、祝日法を国に求める等、周知啓蒙の取組は。
〇最終処分場の搬入に課する産業廃棄物税の徴収額が増加しているが、その使途は。リサイクル促進体制が適切に機能するための府民環境部と他部局との連携状況は。府内市町村等の職員育成の観点から、京都府主催の合同研修会開催など踏み込んだ取組を。環境問題解決を目指す新技術に対する開発支援と積極的な実装支援を行い、府民への周知を。



城陽市 園崎 弘道

間山陰近畿道の通行料がしっかりと整備に活用され、これまで以上に実感できる事業の加速化で早期全線開通を！

〔国事〕地元協議会の「管理費等の利用者負担を排除せず、早期全線開通を求めろ」決議を重く受けとめ、早期全線開通への道筋を示すべく、維持管理費等の一部を利用者に負担いただくことを決断した。いま事業中の大宮峰山道路は、今後一日も早く完成を国に強く求める。また、峰山～網野間は、今年度中に事業化に向けた調査・設計に着手する。網野～兵庫県境までは、概略設計や環境調査をしており、地元意見も伺いながら取組を更に加速してルートを確認する。今後一日も早く全線開通に向けて全力で取り組む。



京丹後市 森口 亨

<子育て環境日本一の取組について> 市町村の子育てに関わる施策の総和が府の「子育て環境日本一」につながる

〇亀岡市の子どもファースト宣言など市町村の取組を「子育て環境日本一京都」実現のため府として一体となって応援された。
〔京都市と亀岡市を結び道路ネットワークについて〕
〇豪雨時の国道九号通行止め基準の緩和、大原野インターのフルインター化、京都縦貫道の通行料金値下げ等、国道九号4車線化やWルート建設の大命題と併せ、府として関係機関に強力な要請を。
〔全国都市緑化フェアの京都丹波への2026年誘致について〕
〇京都丹波の魅力発信のため、誘致実現への強力な取組を。



亀岡市 田中英夫

山城南部地域の豪雨災害に備え河川整備の取組は！ 山城南部地域の発展を支える道路整備の更なる取組は！

〇全国各地で豪雨災害が激化し、頻発している中、治水安全の向上に向け、木津川と宇治川の河川整備はどのように進めていくのか！
〇山城南部地域全体を横断する唯一の東西軸である国道163号精華町から木津川市にかけての西側での交通渋滞緩和の取組は！ 笠置町有市地区での防災事業、幅員狭小等の解消を目的とした木津川市加茂町鎌司から和束町木屋間の道路改良事業の取組状況は！
〇恭仁宮跡の整備に向けて、地域の歴史や文化とともに、恭仁宮の歴史的価値を広く発信し活用できるように検討を進めては！



木津川市・相楽郡 兎本 和久

都道府県の基本的な仕事は市町村支援だ。府市の二重行政解消を更に進めて京都市の財政再建を支援すべき！

市民の最大の関心事であろう「京都市の財政再建」を京都府がいかに支援できるか？ 市民生活への悪影響が起りにくい市の業務削減を支援することで可能だ。他府県よりも協働してきた府市の関係性で、京都市内で京都府も実施している業務について、更に突っ込んで京都府に一元化する方法がある。具体的には、公立学校や公営住宅、諸産業の支援機関や各種施設等。学校統廃合の跡地は、京都市の税収増に資する価値創造拠点としても活用できる。京都市にその意思があれば実施できる選択肢として京都府は考えておくべきだ。



右京区 二之湯 真士

今、まさに危機的な状況にある一次産業や、それらの関連産業を、京都府はどう守るのかを知事に問う！

- 1、農業施策について
・京都府農林水産ビジョンの改定について
・農業改良普及センターのこれからの役割について
・担い手の確保・育成について
・都市近郊型農業における生産緑地制度について
・農業に使用する軽油引取税の免税について
2、インボイス制度導入に向けた支援について
・京都府の取組の進捗状況や今後の取組と課題について



長岡京市・乙訓郡 能勢 昌博

総合計画 総括質疑

府政運営の羅針盤となる京都府総合計画の改定の意義と想い、府域の均衡ある発展のための道路整備について

〇歴史的にもよめる社会の大きな転換点を迎えている中で、京都府総合計画を現基本計画の計画期間の満了を待たずに前倒しで改定し、府民が安心して、豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱けるよう、新たな府政の方向性や取組を示していくことが重要であると考えている。今回の総合計画の改定に込めた知事の想いとはどうか。また、知事が常々言われる「子育てにやさしい社会は全ての世代にやさしい社会」を今後どのようにして築き上げていくのか。
〇「あたたかい京都づくり」を進めていくには、地域と地域をつなぎ、人や物の流れを支える基盤整備、中でも道路を欠かすことができません。南北に長い本府においてその重要性は特に大きいと考えるが、府域の均衡ある発展のための道路整備に関し、知事の所見を伺う。



南丹市・船井郡 片山 誠治

安心の医療・介護・福祉の実現と、新たな価値を生む産業の創出で活気ある京都づくりを。

〇安心できる医療・介護・福祉について 人材不足と地域間でのサービス提供格差を是正し、適正なサービス提供体制を構築することで、サービスの量と質を確保するとともに、在宅で介護をされている方々にも必要なケアの提供を。
〇未来を拓く京都産業の実現と雇用対策について 国際競争力を取り戻すため、価値観の変容と産業構造の転換を図るとともに、働きやすい職場環境づくりの推進で「未来を拓く京都産業」の創出を。
〇京都府南部イノベーションベルト広域連携プロジェクトについて 京都府南部総合地方卸売市場内に設置されるLABを活用し中食をリードすることで京都府南部のさらなる農業振興を。同時に、人とモノの流れを促し効果を最大限に発揮するための道路整備を。



宇治市・久世郡 藤山 裕紀子

新たな取組で伝統産業の未来を切り拓き次世代に継承されることを期待 子育て環境日本一・京都の実現を！

〇府内の伝統産業の新たな可能性について 「Kyo-Densan-Biz」の新たな取組で、世界に評価されるものが生まれるのは、長年、伝統産業を守ってこられた職人さんたちの努力の賜物である。伝統産業を支えてこられた全ての事業者が、幅広い伴走支援を受け、新商品の開発や販路の開拓、新しいビジネス展開など、発展することを期待する。
〇子育て環境日本一・京都の実現について 「社会で子どもを育てる」には、地域コミュニティを含めた社会全体の子育てへの関わり方が肝要である。人と人とが、絆を大切に、誰もが未来に希望を託せる社会となるよう、「子育て環境日本一」の取組のより一層の強化を！



上京区 宮下 友紀子

新型コロナウイルス感染症に関するお困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。

